

平成22年度 事務事業評価シート（平成21年度実績分）

事務事業名	仁淀川流域交流事業		部課コード	0109	予算事業科目	010201070390	事	単	区分	継続	
所管部署	担当部局	総務部	部長名(2次評価者)	中澤 慎二		個別事務	全部	010201070390	-		
	担当部署	総政政策課	所属長名(1次評価者)	弘瀬 優					-		
	電話番号	088-823-9407	E-mail	kc-010900@city.kochi.lg.jp					-		

1 事業の位置付け

予算科目(平成21年度)	高知市総合計画・実施計画施策体系での位置付け									
会計	01 一般会計	目標	03 C環境と共生する安全で快適な都市	政策基本方針	海・山・川の自然に恵まれた、まちに花とみどりがあふれる、海と森が映える水とみどりのまちづくりを推進します。					
款	02 総務費	政策	04 海と森が映える水とみどりのまちづくり							
項	01 総務管理費	施策	01 流域市町村との連携による流域管理の促進							
目	07 企画費	区分	01 流域市町村との連携							

2 事業の根拠

法律・政令・省令		法定受託事務
県条例・規則・要綱等		
市条例・規則・要綱等		
その他(計画、覚書等)	2001高知市総合計画, 仁淀川流域交流会議会則	

3 事業の目的・内容等

対象	誰(何)を対象に	・構成市町村(仁淀川町, 越知町, 佐川町, 日高村, いの町, 土佐市, 高知市)の住民 ・仁淀川広域に関わる人, 団体, 法人
意図	どのような状態にしていくのか	仁淀川流域市町村が一体となって, 仁淀川の保全と流域圏の活性化を図る。
手段	事業実施体制等	仁淀川流域7市町村の長で構成する「仁淀川流域交流会議」の下に, 職員で構成する「幹事会」を設ける。
		事業開始年度 平成10年度 事業終了年度 -
活動内容	どのような事業活動を行うのか	仁淀川流域の環境保全と活性化を図ることを目的に, 流域7市町村で「自然環境の保全・再生」, 「伝統文化, 技能・技術の継承・発展」, 「内外の多様な交流促進」の3つの柱を掲げ, イベント等広域的な取組を推進する。
成果指標	事業目的の成果を測る指標	
	指標設定の考え方	
	A	
	B	

4 事業の実績等

			19年度(実績)	20年度(実績)	21年度(実績)	22年度(計画)	備考欄	
成果指標	A	目標						
		実績						
	B	目標						
		実績						
	C	目標						
		実績						
投入コスト	① 事業費	決算額 (千円)	623	669	668	668		
		財源内訳	国費 (千円)					
			県費 (千円)					
			市債 (千円)					
			その他 (千円)					
			一般財源 (千円)	623	669	668	668	
	翌年度への繰越額 (千円)							
	② 概算人件費等	人件費等 (千円)	450	450	450	450		
		正規職員 (千円)	450	450	450	450		
		その他 (千円)						
		人役数 (人)	0.06	0.06	0.06	0.06		
		正規職員 (人)	0.06	0.06	0.06	0.06		
		その他 (人)						
	総コスト= ① + ② (千円)		1,073	1,119	1,118	1,118		
市民1人当たりコスト (円)		3	3	3		総コスト/年度末人口		
年度末住民基本台帳人数 (人)		341,544	340,695	339,714				

5 成果指標で表せない事業成果・市民満足度・その他課題点等

事業目的が、仁淀川流域の「自然環境の保全・再生」、「伝統文化、技能・技術の継承・発展」、「内外の多様な交流促進」としており、流域の水質保全のための間伐の助成、また地域内外の交流拡大など、具体的な指標により成果を測ることは困難である。また、背景に仁淀川取水の問題があり、本市がこの交流会議から脱退することは困難である。

6 1次評価（所属長評価）

評価日（平成 22 年 9 月 27 日）

評価項目		評価基準	1次	平均 点数	評価内容の説明
事業実施の必要性	① [施策体系等での位置付け] 事業の実施が市の総合計画・実施計画・市長マニフェスト等の目標達成に結びつくか、又は、事業の根拠等に結びつくか	A (5) 結びつく B (3) 一部結びつく C (1) あまり結びつかない D (0) 結びつかない	A	4.0	本事業は総合計画の「流域市町村との連携による流域管理の促進」により実施しているものである。
	② [市民ニーズの傾向] 事業の実施に対する市民のニーズ（需要量）の傾向はどうか	A (5) 非常に多い、急増している B (3) 横ばいである C (1) 少ない、減少している D (0) ほとんどない	B		
事業内容の有効性	③ [成果の達成状況] 事業の成果指標の達成状況は順調か	A (5) 十分に達成している B (3) 概ね達成している C (1) あまり順調ではない D (0) 十分な成果を望めない	B	3.0	間伐の実施による水環境の保全・再生の結果を測ること、また仁淀川流域内外の交流の推進結果を測ることは即時に困難であるが、事業成果の向上に対して不断の努力をしている。
	④ [事業の手法・活動内容] 事業成果の向上のための手法・活動内容の妥当性	A (5) 妥当である B (3) 概ね妥当である C (1) 検討の余地がある D (0) 見直しが必要である	B		
事業実施の効率性	⑤ [アウトソーシングの可能性] 事業の実施にかかる民間活力利用の可能性	A (5) 実施済・できない B (3) 行政主体が望ましい C (1) 検討の余地はある D (0) 十分可能である	B	3.0	仁淀川流域市町村で協議会をつくり、実施している。
	⑥ [事業統合・連携・コスト削減] 類似事業との統合・連携やコスト削減の可能性	A (5) 現状が望ましい・できない B (3) 概ね効率的にできている C (1) 検討の余地がある D (0) 十分可能である	B		
事業実施の公平性	⑦ [受益者の偏り] 事業の受益者が特定の個人(団体)等に偏りがなく公平性が保たれているか	A (5) 極めて公平性が高い B (3) 概ね保たれている C (1) 偏っている D (0) 公平性を欠いている	A	5.0	本事業の成果は全ての市民に提供されている。
	⑧ [受益者負担の適正化] 事業実施の財源として、受益者負担割合（一般財源負担割合）は妥当か。補助金等交付事業の場合、対象経費は妥当か。	A (5) 適正な負担割合である B (3) 概ね適正な負担割合である C (1) 検討の余地がある D (0) 検討すべきである	A		
総合 点	15.0	総合 評価	A 事業継続 (総合点が16点以上で、各項目の平均点数がいずれも2点を超える場合) ○ B 経費削減に努め事業継続 (総合点が12点以上16点未満で、各項目の平均点数がいずれも2点を超える場合) C 事業縮小・再構築の検討 (総合点が4点以上12点未満 又は 各項目の平均点数のいずれかで2点以下がある場合) D 事業廃止・凍結の検討 (総合点が4点未満 又は 各項目の平均点数のいずれかで1点以下がある場合)		

7 2次評価（部局長評価）

評価日（平成 22 年 9 月 29 日）

総合評価	評価理由・今後の方向性等
○ B 経費削減に努め事業継続	事業目的である仁淀川流域の「自然環境の保全・再生」、「伝統文化、技能・技術の継承・発展」、「内外の多様な交流促進」は、現在策定作業中の次期総合計画の趣旨にも沿ったものであり、今後も事業内容等について協議会で十分精査し経費節減に努めながら継続していく必要があるものとする。

8 特記事項